



受験生のための新型コロナワクチン接種

9月13日から17日の5日間、神立病院で「受験生のための新型コロナワクチン接種」が行われました。国からのワクチン供給が安定せず、接種を希望していても接種できず、不安を感じながら受験に臨む受験生を支援するため、医療法人社団青州会神立病院（土浦市神立中央）の協力により、集団接種会場を病院内に設置し、296人に新型コロナワクチン接種を実施しました。

会場はスムーズな接種や移動ができるよう工夫され、また、体調に異変があっても医師などが常駐していることから、希望者は安心して接種を受けることができました。

接種者からは「ワクチン接種がなかなか受けられない中、今回接種を受けられとても安心しました。これからは受験に集中することができます」と感想がありました。



サイクリングで体感する市の魅力

9月20日、「Road Trip」を開催。サイクリングをしながら、市内のれんこんやサツマイモ、水産加工品の生産者を訪ね特産品に触れました。また、収穫した食材をシェフが調理した「限定の特別ディナー」を湖畔で味わい、市の魅力を体感したツアーとなりました。参加者からは、「初めてれんこん収穫の様子を見ました。生産者の想いが込められた特産品のディナーも楽しめて、市の魅力を発見でき、楽しかったです」と感想がありました。



© かすみがうらアクティビティコミッション

帆引き船がサントリー地域文化賞を受賞

9月22日、かすみがうら市、土浦市、行方市の各帆引き船保存会が、地域文化の発展に貢献した団体として「第43回サントリー地域文化賞」を受賞しました。風向きや風力の変化に瞬時に対応するなど、高度な技術が求められる帆引き船操業。各保存会で長年にわたって操船技術に関するマニュアルを作成するなど、後継者を育成し技術伝承に積極的に取り組んでいる点が高く評価され、受賞となりました。



茨城県庁での記者会見の様子

100歳を迎えた方に褒状を贈呈

9月1日から17日、「百寿をお祝いする褒状と記念品の贈呈」を行いました。今年は8人が100歳を迎えられ、大正、昭和、平成、令和と激動の一世紀を過ごされてきました。

健康の秘訣について何うと「新しい趣味を見つけること。特に絵を描いたり草花を育てるのが好きです」と元木喜代さん、「好き嫌いせず何でもおいしく食べることです」と高野正雄さんは笑顔で話してくれました。



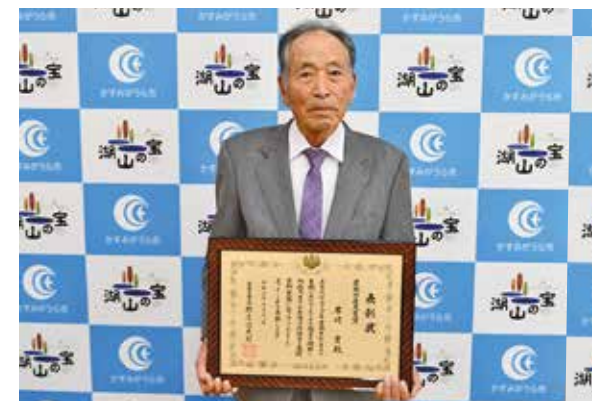
もと木 きよ子 元木 喜代さん（東野寺）



たかの まさお 高野 正雄さん（坂）

農林水産大臣表彰 君崎 實さん

9月28日、農林水産大臣から「統計功労者表彰」を受けた君崎實さんが、報告のために市長へ表敬訪問されました。君崎さんは、農林業センサス調査員および指導員を主として各種調査活動に35年間従事し、農林行政施策の基礎資料の整備に寄与された功績が認められ、表彰されました。「今まで多くの仲間と共に調査活動ができたことに感謝しております」と表彰の喜びを話してくれました。



妊婦教室でプレパママの体験

9月17日、かすみがうらウエルネスプラザで「妊婦教室ウェルカムベビークラス」を行いました。この教室では、これから生まれてくる赤ちゃんのため、出産までに気を付けることや出産後の対応などについて助産師が助言を行うものです。パパは妊娠中のママの大変さを体験し、パパママで協力して沐浴体験を行いました。参加したパパからは「沐浴は思っていたより大変でした。少しの時間で腰が痛くなりました」と感想がありました。



総務大臣表彰 森 清孝さん

9月28日、総務大臣から「統計功労者表彰」を受けた森清孝さんが、報告のために市長へ表敬訪問されました。森さんは、経済センサス - 基礎調査員などを含めた各種調査活動に29年間従事し、社会経済の発展を支える基礎資料の整備に寄与された功績が認められ、表彰されました。「今回の受賞については、支えてくれた多くの皆様のご協力のおかげと感謝しております」と表彰の喜びを話してくれました。

